

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆書	隷書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
域	イキ さかい 教6常①								域 王勃詩序
或	ワク ある あるいは 人①								或 法華義疏
基	キ もと いも とづく 教5常①								基 聖武天皇雜集
埼	さき 人→新①								
崎	さき けわしい 常①								崎 豊曾指歸
碯	さき ①								
執	シツ シユウ とる 常①								執 法華義疏

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
域		域	域				域	域		域	域	域 現代中国
或		或	或	或	或		或	或			或	或 現代中国
基		基	基				基	基		基	基	基 現代中国
埼		埼	埼				埼					埼 現代中国
崎		崎	崎	崎	崎		崎				崎	崎 現代中国
碯		碯	碯									碯 現代中国
執		執	執	執	執		執	執	執	執	執	執 現代中国

【域】説文は「或」をあげ、「域」を或体(異体字)としているが、前漢以前には「域」の字体は見えない。唐代の五経文字の序には「惑體」という記述があり、「或」と「惑」が通用していた可能性がうかがえる。

【基】南北朝期は「土」に点の付く字体が多数派だが、唐代に

は点のない字体が多数派。

【執】大徐本と段注本で字体が異なる。金文などに合致しているのは大徐本。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆書	隸書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
埴	ショク はに 人①		埴	埴				埴	
堆	タイ ツイ うずたかい 人→新①		堆	堆			堆		
堂	ショク はに 人①		堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
			堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
			堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
埜	ヤの 人①		埜	埜	埜	埜	埜	埜	埜
野	ヤの 教2乗①		野	野	野	野	野	野	野
堅	③		堅	堅	堅	堅	堅	堅	
			堅	堅	堅	堅	堅	堅	
培	バイ つちかう 常①		培	培			培	培	培
埴	フ ①		埴	埴			埴	埴	埴
堀	ほり あな ほる 常①		堀	堀			堀	堀	堀
			堀	堀			堀	堀	堀

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
埴	埴	埴					埴					埴 現代中国
堆	堆	堆					堆					堆 現代中国
堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂 現代中国
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野 現代中国
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	
野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	
培	培	培	培	培	培	培	培	培	培	培	培	培 現代中国
埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴	埴 現代中国
堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀 現代中国
堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	堀	

【埜】説文にはこの字体では不録。「埜」は康熙字典に親字として「土」の部首に載っているが、「野」の古文としても載っている。

【埴】大徐本と段注本では意味はともに「突也」となっているが字体が異なる。大徐本には段注本と同じ字体の例が載って

いるが、意味は「免堀也」とされており、別字扱い。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆書	隷書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
報	ホウ むくいる しらせる								杜家立成
壘	ルイ とりで								巽替指歸
壘	人②								性靈集
塩	エン しお								東大寺藏物帳
鹽	②								東大寺藏物帳
臨	④								篆隸象名義
塊	カイ かたまり つちくれ								聖武天皇雜集
									伝嶋岫天皇
塞	サイ・ソク ふさぐ みぢがる ふさが とりで								王勃詩序
									江戸九條(傳省)
塑	ソ								現代中国

【報】大徐本と段注本で字体が異なる。金文と見比べると大徐本と合致しているようだ。

【塩】別体／許容は明治の漢字、國定教科書、陸軍にも掲載されている。

【塊】大徐本と段注本は字体は変わらないが、大徐本の或体が

段注本では俗字になっている。

【塞】甲骨、金文には「土」がない。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												報 現代中国
												奎 現代中国
												盐 現代中国
												鹽 五経(訛)
												块 干祿字書 現代中国
												由 干祿字書
												塞 現代中国
												塑 現代中国